

市議会だより きたあきた



No. 53

平成29年8月1日発行

6月定例会

- 今定例会の審議 2
- 内陸線議員連盟／世界遺産登録推進議員連盟 ... 3
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問／第1回臨時会 6～11
- 所管事務調査報告／林活議連総会 12
- 人事案件 13
- 市民の声／議員表彰／議会報告会 14

東北高校野球部合川遠征試合

～ 合川球場 ～

どぶろく工房整備事業予算 5036万円

など23件を全会一致で可決



平成29年北秋田市議会6月定例会は、6月15日（木）から6月27日（木）までの13日間の会期で行われました。今定例会では、条例案2件、予算案13件、その他議案等8件、陳情2件など25件が提案され、議案23件と陳情2件が原案のとおり可決、採択されました。

なお、追加提案された北秋田市農業委員会委員の任命については、簡易採決の結果、全会一致で同意されました。

今定例会の主な議事

- 個人情報保護条例等の一部を改正する条例の制定について
- 市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算
- 工事請負契約の締結について
- 財産の取得についてなど

主な補正予算

平成29年度一般会計補正予算は、追加提案分の1億7372万9千円を含めた総額が歳入歳出それぞれ総額241億1624万6千円とするものです。

▽秋田内陸線阿仁合駅観光拠点施設整備事業補助金1億2666万9千円
▽打当温泉マタギの湯どぶろく工房整備事業5036万円

▽旧中央公民館耐震改修事業1億4981万3千円

陳情2件は採択 国に意見書を提出

- ▽園芸メガ団地施設等整備事業補助金1764万2千円
- ▽秋田のしいたけ生産施設等整備事業費補助金7334万5千円
- ▽慶祝森林自然公園林間広場改修工事2092万円
- ▽合川総合窓口センター耐震診断委託395万1千円など。

農業委員会委員の任命

農業委員会委員の任命については、13ページに記載のとおりです。

秋田内陸縦貫鉄道 北秋田議員連盟



さらなる利用促進に 向け意見交換

秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟（会長・松尾秀一議長）は5月30日、打当温泉マタギの湯で開催され、定時総会及び仙北市議会と内陸線について意見交換会が行われました。

定時総会では、28年度の事業報告と収支決算報告、29年度の事業計画案と予算案が承認されました。

事業計画では、「当会としても、同鉄道及び沿線について理解を深め、同線活性化のため、定時総会の実施、同鉄道及び沿線の研究を行う」としました。

また、秋田内陸縦貫鉄道の佐々木琢郎社長から、平成28年度の経営状況と今後の経営方針などについて説明を受け、今年度はインバウンド団体客2万人を目指し、さまざまな取り組みを行っていく考えが示されました。

当会としてもどのような協力や取り組みができるかなど、今後の活性化に向けた活発な意見交換を交わすことができました。



北秋田市議会「伊勢堂岱遺跡」 世界遺産登録推進議員連盟を設立

世界文化遺産への 早期登録を推進

平成29年6月27日、北秋田市議会「伊勢堂岱遺跡」世界遺産登録推進議員連盟が設立されました。本会は、「伊勢堂岱遺跡」の世界文化遺産への早期登録を推進することを目的とし、議員全員（20名）で構成されています。北海道・北東北の縄文遺跡群を構成する市町議会での議員連盟の設立は初めてです。

【本会の役員】

会長	佐藤 重光
副会長	庄司 憲三郎
事務局長	佐藤 文信
幹事	大森 光信
	久留嶋 範子
	堀部 壽
	山田 博康
	福岡 由巳
監事	



世界遺産登録を目指して

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の陳情	秋田県教職員組合 執行委員長 櫻田 憂子 秋田県教職員組合大館北秋支部 支部長 永瀬 知己	採 択	提 出
日本政府が核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、禁止条約の実現に努力することを求める意見書についての陳情	原水爆禁止秋田県協議会 事務局長 渡部 雅子	採 択	提 出

で議案を審査

6月定例会

産業建設常任委員会



豪雨の影響を受けた
慶祝森林自然公園

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案6件、単行議案5件の計12件。
平成29年度一般会計補正予算では、農林課関係で「慶祝森林自然公園の工事請負費について、補助金を利用し整備する」ということであったが、今回は補助金はなしというところか」との質疑があり「自然公園の広場が豪雨のため崩れたことに伴う工事費で、水と森事業の補助を使った区域とは違った場所です。単独事業である」との答弁がありました。

打当温泉マタギの湯に どぶろく工房

ふるさとの森整備基金積立金についての質疑に対し「温室効果ガスの削減が大きな目的で、その取り組みのひとつとして環境省が始めたもので、北秋田市では、平成20年から22年までに間伐した市有林があり、その分を森林吸収源として認定を受けており、それを販売し基金に積み立てたもので、今年度すべて売れた」ということで計上したものと、の答弁がありました。
商工観光課関係では「どぶろく工房整備事業に約5030万円をかけ、いろんな付加価値を見込んでおり経済的な効果もあるとのことだが、マタギの里観光開発の経営状態はどうなっているのか」との質疑がありました。当局からは、平成29年3月末時点の事業報告書に基づき経営状況の説明があり「打当温泉マタギの湯、道の駅あにについて、おおむね経営改善計画に近い数字になっている。また、ど



安の滝登山道入口

ぶろくの販売量は、最大20000まで可能であり、差引利益も最大で166万円まで見込んでいる」との答弁がありました。また、安の滝歩道改修事業費2400万円の2割480万円が市の負担ということだが、どの程度改善されるのか」との質疑があり「安の滝歩道は約1・8mで約120箇所の補修を検討しており、この補修の中には、木道、階段、柵等の設置を予定し、今年度出来る範囲を設計中である」との答弁がありました。

建設機械導入

下水道事業特別会計補正予算について「し尿処理センターの建設とは違うものか」との質疑があり「今回浄化センターを改築する理由は、し尿処理センターの汚水は高度なやり方をしないと処理できないので、施設の強化を図るため改築が必要」との答弁がありました。

単行議案の財産の取得について「クレーン付トラクタ」「ロータリ除雪車」「除雪ドリザ」3件については、更新状況や配置場所などを確認しました。
付託された案件については、すべて全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。

(委員長 庄司憲三郎)



3つの常任委員会

総務文教常任委員会

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案4件、単行議案1件、陳情2件の計8件。

平成29年度一般会計補正予算では、秋田内陸線阿仁合駅観光拠点施設整備事業補助金について、工事のスケジュールや改装内容、阿仁合駅の利活用に関する質疑があり「平成29年度中に完結するものについての交付金事業であり、9月上旬に発注して3月までに完成させる予定であり、計画では、トイレの洋式化、待合室の拡大のほか、内陸線アテンダントによる観光案内所を設置し、現在の商工会部分にこぐま亭の場所を移転する利活用については、28年度、外国人旅行者が、1万5526人となっており、阿仁合駅を観光拠点とすることで、更なる観光客を誘客するほか、直接的な人口増に結びつかなくとも、外国人向け事業等を開業するきっかけづくりに」との答弁がありました。

秋田内陸線阿仁合駅改装

旧中央公民館耐震改修

旧中央公民館耐震改修事業について、移転する部署や3階の教室の利用に関して質疑があり「産業部もしくは建設部と考えているが、工事発注時には机の配置等細かいところも決めなければならぬため、9月頃に固めたい。3階は北秋田市職業総合センターであり、今後は技能組合の機能として残す」との答弁がありました。

付託された案件は、全て全会一致で原案のとおり可決及び採択すべきと決しました。

(委員長 佐藤 重光)



阿仁合駅を観光拠点に

市民福祉常任委員会

当委員会に付託された案件は、予算案6件、単行議案2件の計8件。

平成29年度一般会計補正予算では、市民生活部関係で、自治振興費の防犯街灯設置費補助金に関して「各町内会、自治会の電気料の将来的な負担軽減を考慮するとLED街灯へ切り替えるべきと思うがこの補助金の内容は」との質疑があり「ほとんどがLED化への切り替えを想定した内容であります、補助率はLEDが3分の2、通常の街灯が2分の1で10件分を見込んでの予算計上としている」との答弁がありました。

国民健康保険合川診療所特別会計補正予算では、医療事務委託に関して「コスト的には、人件費よりも委託のほうが高くなることで、職員を募集するにも有資格などの問題もあると思うが、これからの方針や見通しについてはどうか」との質疑があり「急な退職による措置となります。今後も医療事務委託を考えて

防犯街灯設置費補助金

財産の取得について

おりますが、経費の関係も含めて、適正に把握しながら取り組んでいきたい」との答弁がありました。

財産の取得について、消防ポンプ自動車、高規格救急自動車の2件については、車両の計画的な更新状況、納期の確認及び新規の装備内容などを確認しました。

(委員長 小笠原 寿)



車両の更新

一般質問

一般質問は、6月19日・20日に行われ、10名の議員が登壇しました。



③ 松橋 隆 議員

- 1 3期目に向けた市長の
意気込み
- 2 市道ブナ森線の県道昇
格期成同盟会の設立
- 3 北秋田市職員定員適正
化計画
- 4 女性管理職の割合
- 5 教育行政

[P.7]

⑥ 武田 浩人 議員

- 1 観光振興
- 2 カラス等の対策

[P.8]

⑩ 三浦 倫美 議員

- 1 危険空き家解体補助制度早期実現
- 2 支援困難者対策

[P.11]

- 1 チャレンジデー
- 2 スポーツ振興とスポーツ立市の宣言
- 3 ねんりんピックと本市の観光PR
- 4 市長の掲げる「人口減少時代の挑戦」と地方創生
- 5 観光振興

[P.9]

議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告や説明を求めるもので、定例会ごとに行なわれます。



〔一問一答方式〕

市民ファーストとは

ラスした行政運営を「市民ファースト」と表現させていただいた。

市長：検証意見集約で判断する

朝や夕方の時間帯は、送迎の車などで大変混雑し、車や自転車、歩行者などが交錯して大変危険な状態になる。また、何の整備もさ

っていない状況は、市の顔としてはあまりに景観が損なっており、早期の整備が必要だと思ふがどうか。

答 駐車場や横断歩道の線引きについて整備

する方向で検討をして
いただいている。



鳥取駅前



JR 鷹ノ巣駅
Tama Station



整備が待たれるJR鷹ノ巣駅前

鳥獣被害防止の徹底を



福岡 由巳 議員（無会派）
〔一問一答方式〕

問 最近、市内でもクマだけではなく他の鳥獣による田畑や家畜の被害を聞く。捕獲のあり方、捕獲後の処理についてマニュアルを作すべきでないか。

答 捕獲後の対象鳥獣の処理については、自家処理を基本としているが、状況によっては鳥獣被害防止計画に基づき適宜対処していきたい。

問 北秋田市鳥獣被害防止計画の対象鳥獣はツキノワグマだけである。これでは、イノシシやニホンジカ等に対処できない。被害調査すべき鳥獣をきちんと決めて対処すべきでないか。

答 市の被害防止計画は、平成29年度までの計画であるので、30年度からの計画に向けて整備していきたい。

問 30年度からと言わず、それ以前に改正すべきである。また、非常に不足しているハンターを増やす対策はないか。

答 秋田県でも狩猟免許の取得に関して、いろいろな手立てをすることとしようことなので市として

問 秋田県でも狩猟免許の取得に関して、いろいろな手立てをすることとしようことなので市として

答 秋田県でも狩猟免許の取得に関して、いろいろな手立てをすることとしようことなので市として



クマ以外の被害も多い

議員：合川の交通網の改善を 市長：良いとは思っていない

問 合川北地区の公共交通は、市民病院への乗り合いタクシーだけである。買い物にも行けない。改善すべきでないか。

答 合川北地区の運行状況は決して良いとは思っていない。乗り合いよりはデマンドが使いやすいし、便利だという認識はある。

問 合川北地区の公共交通は、市民病院への乗り合いタクシーだけである。買い物にも行けない。改善すべきでないか。

答 合川北地区の運行状況は決して良いとは思っていない。乗り合いよりはデマンドが使いやすいし、便利だという認識はある。

ブナ森線期成同盟会を



松橋 隆 議員（みらい）
〔一問一答方式〕

問 観光施設が整ってきているなかで、観光客が多く訪れているが宿泊者が他市に流れている。経済効果を高めるために大型ホテルの誘致が必要ではないか。

答 市内の事業者と連携を図りながら宿泊数の増加と施設の改善を進める支援を行っている。

問 平成13年に70億近い工事費をかけて完成したトンネル。しかし、両市への通行ができぬまま16年経っている。森吉山を核とした観光振興にはなくてはならない。道路災害等で105号線が通行止めになったときの迂回路として、迂回路がないブナ森線である。

問 移住定住対策の解決に向けて給食費の無料化を考えてはどうか。もちろん子育て支援の観点から移住者だけに限らない給食費の無料化を訴えるものである。

答 児童生徒に学校給食の意義を認識させ、望ましい食習慣を身につけさせるとともに保護者に対する感謝の気持ちを育てるという教育的観点からも保護者に負担して頂くべきと考える。

問 女性活躍社会がすごい勢いで進んでいる。当市の女性管理職員の割合は何%か。そして、総合計画にある32年度目標値10・5%は達成できるのか。

答 管理職全体に占める割合は4・44%。目標値達成に向けてより具体的対策で取り組みたい。

問 観光施設が整ってきているなかで、観光客が多く訪れているが宿泊者が他市に流れている。経済効果を高めるために大型ホテルの誘致が必要ではないか。

答 市内の事業者と連携を図りながら宿泊数の増加と施設の改善を進める支援を行っている。



仙北市へ抜けるブナ森トンネル

LCC早期就航実現を



小笠原 寿 議員（緑風・公明）
〔一問一答方式〕

い、地域活性化を。「馬肉うどん」や「比内地鶏」を使った餃子をPRしてみているかどうか。

〔答〕JAによる販路拡大策や生産者の直接販売を支援する「推奨品目販売促進事業」によ

り、実際に販売する方へ助成を行い、北秋田市産の農作物等が高いブランド力を持てるような支援策を展開していきたい。特産品開発について頂いた提言は貴重な意見として参考にさせてもらう。

議員：民間除雪場減免措置を

市長：効果的なのか研究する

〔問〕少子高齢化の中で、除排雪の問題が今まで以上に深刻化してくるものと思われる。特に市街地の雪捨て場の確保は大変。近隣の人が自由に投げられるように、冬期間、除排雪場として提供して頂ける土地に対し、固定資産税の減免措置を行い、促すことはできないか。

〔答〕高齢者にとって除雪作業は大変重労働であり、敷地内の除雪した雪を寄せる場所がない。市街地に暮らす方にとっては、さらに大



特産品でまちおこしを

〔問〕米や比内地鶏のプレミアムブランドを創出し、品質向上と合わせ高く売れる努力を。また、第二のバター餅となるような掘り起こし、特産品開発を行

★☆☆☆☆
〔問〕市のお金はもとは市民の税金。市長は、福祉や市民サービスをけずって貯め、一方でハコモノ建設で借金を増やした。今後それを返済しなければならな

★☆☆☆☆
〔問〕市の貯金が多すぎる。人口がほぼ同じ県内の市はどれも10億円から30億円。北秋田市は75億円。突出している。



板垣 淳 議員（共産党議員団）
〔一問一答方式〕

もなる。これでは市民のくらしは良くなるない。佐竹知事も「住民サービスをしつかりやれば多くはたまらないはずだ」と述べている。政治姿勢を転換し市民

議員：ケアタウンどうする

市長：民間に移管したい

〔問〕ケアタウン建設費の借金返済は平成40年までで、毎年計画通り返済してきた。ところが突然、残金9億円を一括返済した。その際「何か政治判断があるのでは」と質問したら市長は「後年度負担を軽減するため」と答弁した。本当にそれだけか。

〔答〕その意見を今後の検討材料にする。

〔問〕民間に移管したいと考えている。相手先や無償か有償かなどは未定。

〔問〕前の答弁と違う。今のが本当の答弁だろうが、議会では二度とごまかしの答弁をしないよう強く指摘する。



民間移管を検討中(ケアタウンたかのす)

貯金の有効活用を

のくらしのために有効活用することを求める。〔答〕その年の財政運営において必要に応じて適切かつ有効に運用して行く。

DMOで誘客の促進を



武田 浩人 議員（緑風・公明）
〔一問一答方式〕

また、DMOの事業効果については、今後より詳細な分析を行いまして継続的な誘客に繋げていきたいと考えています。

議員：カラス等の糞害対策を

市長：有効な手立て検討する

問 広域連携DMO形成事業の今後の取り組みと、平成32年までの成果指標に対して本市としての目標は設定しているのか伺います。

答 今年度は5月に外務省と秋田犬ツーリズムの主催により東京在住の各国大使らの視察ツアーを開催したほか8月には台湾でのPRを予定し、12月には魅力発信セミナーにより地域の魅力を発信する予定となっています。また、目標値は基本的に総合戦略の目標値を基にしているが、その他のにも来訪者満足度リピーター率など、独自に設定しているものもあります。

問 カラス等による糞害について、現在までの対応についてと、電力会社に対策の要望は行ったのか伺います。

また、継続的に対策を行うっていく考えはないか伺います。

答 児童公園周辺に光るテープを設置し、CDをつるすなどのほかカラスにライトを照射して追い払ったこともあるが、効果が持続しないのが実情です。多くは電線にとまつていることが多いため、東北電力に対策をお願いしたこともあるが、部分的に対策を講じても他の場所に移動するだけで、きりが無いというところで実現には至っていません。カラスは



PR動画で情報発信を

鳥獣保護法で守られているため、捕獲には許可や狩猟免許が必要になります。市街地では銃や毒物の使用はできないため、箱かな等が有効な対策と思われるが、捕獲後の対応等も含め、他自治体の状況を確認しながら、有効な手立てを検討していきます。

スポーツ立市宣言を



庄司 憲三郎 議員（みらい）
〔一問一答方式〕

と考えております。

議員：乗船場への歩道改良を

市長：検討してまいります

問 スポーツ立市の宣言について、スポーツは自己の健康な体をつくる体力の基礎となり、私生活のうえで極めて重要な意味を持つている。スポーツが盛んなれば、次代を担う若者に夢や希望を与え、社会全体に元氣と明るさが出て、交流人口の増大にもつながる。観光振興、地域活性化を推進するためにも「スポーツ立市北秋田市」を宣言すべきと思うが。

答 平成30年度を初年とするスポーツ振興計画を今年度中に策定する予定としていることから、スポーツ立市宣言の効果や体育館施設関係の整備計画等を合わせて検討していきたい

問 小又峽三階滝の歩道整備を。

答 歩道沿いに安全のためのロープを設置するなどの対策が行なわれておりますが、県立自然公園の特別地域内ということもありまして、風景地の保護と適正な利用という方針から一部の行為は制限がありますので、歩道を管理する県と協議を重ね利用に努めてまいります。

問 乗船場への歩道改良を。

答 遊覧船乗り場の桟橋は高低差が大きく、どうしても歩道が急勾配になってしまっています。これまでも動く遊歩道の設置など、さまざまな案を検討してまいりましたが、設置費用や維持管理費、費用対効

果を考えますと、有効な対策の実施に至ってはおらないところであります。この歩道につきましても、県立自然公園という行為の制限があるなかで引き続き検討してまいります。

問 グリーンハウス駐車場のトイレ稼働を。

答 再稼働につきましては、県等との関係機関と協議してまいります。



スポーツを通して健康づくりを

手話言語条例制定を



久留嶋 範子 議員（共産党議員団）
〔一問一答方式〕

議員…輪転機使用今までどおりに

教育長…検討しルールを作る

問 手話や点字への理解を進め、誰もが安心して生活できる社会を目指す手話言語条例が、今年4月に県で制定された。全国でも条例を成立する自治体が増えている。当市でも制定すべきと考えるが。

答 市内で聴覚障害を持つ人は148人。通院などの際、手話通訳者を派遣する意思疎通支援事業、手話通訳者を養成する講座を実施し、地域にも手話ができる人が徐々に増えている。手話を必要とする人や市民の声、他市の取り組みを参考に研究していきたい。

問 公民館の輪転機使用について、今まで利用できたサークル、各種団体等への使用が4月から制限され、市民から苦情が多数寄せられている。なぜ、このようになったのか。理由と今後の対応を伺います。

答 交流センターに移設した生涯学習課の輪転機は、公民館業務に使用してきましたが、自治会、子ども会、婦人会など公益性の高い団体には、用紙を持参の上、使用を認めています。しかし、昨年度途中から、それ以外の団体や趣味のサークル、営利を目的とする団体も使用するようになつた。今年4月からは、従来通りの自治会、子ども会、婦人会など公益性が高い団体のみの使用としたところで

が、生涯学習課の観点から、今後のあり方を検討していきたい。

問 使用できる公民館もあるが整合性は。

答 各公民館も公益性が高い団体へのみの使用としておりますが、使用する団体や目的が多岐にわたり判断が難しくなったことや、周知されていないことがありました。今後は、検討したルールの下で整合性を図り、適切に管理するようにしたい。



手話奉仕員用テキスト

学校の統合は慎重に



山田 博康 議員（清和会）
〔一問一答方式〕

議員…市出身者に協力要請を

市長…情報提供を願う

問 6月に東京新橋駅近くに秋田県阿仁のマタギ屋敷という居酒屋がオープン。当市の重要観光資源であるマタギを都心で情報発信してくれています。各自治体が費用を投じアンテナショップを設置していますが、費用負担無くして情報の発信をしていただけるとのことです。併せて首都圏はもとろん全国各地で当市出身者で飲食店をはじめ、各種事業を経営されておられる方々の協力をいただき、市の情報発信をしていただく行政としての対応が必要では。

答 当市と縁がある方

がやっている店の情報を積極的に収集し、情報発信に協力いただけるようお願いをし活用させていただきます。

問 250余りの自治会組織があり、行政と協力してまちづくりに多大な貢献をしてくれています。高齢化の進行で組織によっては役員の担い手が無く、特定の方が難儀されている組織もあります。先を見越した行政の対応が必要と思うが。

答 それぞれの役割を明確にし、自治会や町内会との連携と協働によるまちづくりを進めるため、自治会活動への継続的な支援を検討して参ります。

問 小中学校適正規模配置再編プランで白紙撤回となった旧阿仁町地区での今後の対応についてですが、そもそ



マタギ文化を全国へ

危険空き家解体補助を



三浦 倫美 議員（共産党議員団）
〔一問一答方式〕

議員：セルフネグレクト対策

市長：地域福祉計画を策定

問 危険空き家解体補助制度の早期実現を。
答 空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づく北秋田空き家対策協議会を設置し、対策計画を策定。9月を目処に空き家所有者からのアンケート調査を実施し、現状と管理や利活用の意向を確認後、10月に予定の協議会で客観性と公平性を含めた具体的な方針を協議します。

問 セルフネグレクト（自己放任）は、様々な要因から自分自身への世話を行えなくなっている状態です。体や衣類、住環境の不衛生、医療・福祉などの支援拒否、地域からの孤立

の苦悩、疲弊も深刻な社会問題ですが、実態の把握や対策は研究途上で支援制度が確立されていません。予防、早期発見など適切な対応策が必要です。特に、金銭管理の欠如、放任への支援策を「各種料金の滞納をシグナル」に福祉的な視点から、市内各部署間で連携して支援を。

答 セルフネグレクトの方を含め支援困難者対策は、北秋田市社会福祉協議会のくらし相談センター、全戸訪問活動、げんきワールドでの移動相談、民生委員、自治会等の見守り活動。今年度中に策定



金銭管理の支援体制を

する地域福祉計画で、関係機関との連携体制の構築を図ります。金銭管理への支援は、北秋田市社会福祉協議会で、親類縁者との連携を構築したり、本人との契約等により金銭管理をしているケースもあります。市内でも各部署連携して福祉サイドからも、困窮の度合いに応じた「滞納の分納」等の対応に努めております。

第1回臨時会

追加補正予算の総額

2億5011万2千円

可決



一般会計補正予算についてなど審議が行われた第1回臨時会

第1回臨時会が4月25日に開かれ、津谷市長が再選後の初議会に望み、冒頭に所信を表明して3期目の市政運営にあたっての方針を示しました。続いて、議案審議が行われ、専決処分承認9件と報告2件、平成29年度北秋田市一般会計補正予算案1件、北秋田市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案1件、北秋田市教育委員会教育長の任命についてなどの同意案7件の計20件を原案のとおり承認、同意、可決されました。

歳出予算の主なもの

このうち、北秋田市一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億5011万2千円を追加し、予算総額を236億4872万4千円とするものです。

- ▽280メガヘルツデジタル同報無線システム整備事業
1億5472万1千円
- ▽住宅リフォーム支援事業
4000万円
- ▽商業振興子育て応援事業委託
1200万円
- ▽地域医療確保促進事業補助金
1000万円
- ▽結婚新生活支援事業費補助金
240万円
- ▽移住体験ツアー業務委託
239万5千円
- ▽出合い創出ツアー業務委託
169万9千円

所管事務
調査報告

利府町・燕市を視察研修

「広報公聴特別委員会」所管事務調査

広報公聴特別委員会は、所管事務調査のため5月16日宮城県利府町議会、17日新潟県燕市議会を訪問しました。調査内容は「市議会だよりの編集方針等について」でした。両議会報の編集について、説明を受け、また目にするにより多くの教訓を得ることができ、是非一つでも多く生かしたいと委員全員が感じとってきたところです。

編集は「分かりやすく
読みやすく」

編集の基本方針は当然ながら両議会とも住民の皆さんに「内容を分かりやすく読みやすく」伝えることを第一にしています。具体的には、第一に、紙面づくりは余白を大事にすること。余裕ある紙面づくりを目指し、見出しや写真を大きく、さらに余白を多くとって大膽な編集が参考になりました。第二に、議会の内容を伝えるには中学生や高校生にもわかる言葉で書くこと。読者への配慮が行き届いていることが理解できま

す。第三に、表紙はインパクトのあるものにし手にとって読んでみようかなという気にさせること等でした。

他団体と連携し
意見を聞く

編集にあたっては「議会広報クリニク」や「会議録センター」の他団体と連携しながら進めていることも「分かりやすく読みやすく」に結びついているとのことでした。最終的には、見出し位置や写真位置などを印刷業者とイメージ通りになるまで何度もやりとりを行っているとのこと、この編集に対する姿勢も教えられ貴重な研修となりました。



多くの教訓を得た視察研修

林活議連
総会

平成29年度林活議員連盟総会

北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟総会は、6月27日市役所で開催されました。本会は、北秋田市の森林と林業・林産業の活性化の実現に向けて活動することとし、議員全員（20名）で構成されています。

【平成28年度の主な活動報告】

▽北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟総会／平成28年6月28日▽北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟研修会（木質バイオマス発電所・秋田市向浜ユナイテッドリニューアブルエナ



今年度の事業計画などを確認した林活議連総会

ジー株）／平成28年11月11日▽秋田県林活議員連盟協議会定時総会（秋田市）／平成28年11月22日

【平成29年度の事業計画】

- ①森林の整備・林業・木材産業の振興及び地域の活性化に関する調査を行い、市はもとより、県連絡協議会を通して、国、県等関係機関に対して要望活動を行う。
- ②木材産業を取り巻く現状を把握し、活性化に向けた方策を探るための事業を行う。
- ③森林・林業の重要性の普及啓発と持続可能な森林技術を調査し、森林の育成に向けた取り組みを調査する。

【本会の役員】

会長	松尾 秀一
副会長	長崎 克彦
事務局長	庄司 憲三郎
幹事	佐藤 重光
	小笠原 寿
	関口 正則
	松橋 隆
監事	板垣 淳

人事案件

第1回臨時会と6月定例会に人事案同意案件が提案され、次のとおり同意することになった。

【第1回臨時会】

教育委員会教育長の任命について

◎佐藤 昭洋 氏（新任）

教育委員会委員の任命について

◎小林 真 氏（再任）

監査委員の選任について

◎中川 真一 氏（新任）

固定資産税評価審査委員の選任について

◎木村 知剛 氏（再任）
◎堀内 一 氏（新任）

大阿仁財産区管理委員の選任について

◎鈴木 美千英 氏（新任）

綴子財産区管理委員の選任について

◎佐藤 與藏 氏（新任）
◎畠山 善一 氏（新任）
◎太田 兵一 氏（新任）
◎野呂 進 氏（新任）
◎藤島 勝政 氏（再任）
◎工藤 文一郎 氏（再任）
◎村上 三雄 氏（新任）

七日市財産区管理委員の選任について

◎千葉 一永 氏（新任）
◎長岐 勝 氏（再任）
◎堀部 明博 氏（再任）
◎畠山 鐵三郎 氏（新任）
◎畠山 鐵男 氏（再任）
◎布田 忠雄 氏（再任）
◎岩本 幸悦 氏（新任）

【6月定例会】

農業委員会委員の任命について

◎戸沢 敦男 氏（前山）
◎篠内 豊 氏（今泉）
◎佐藤 茂延 氏（坊沢）
◎長崎 成人 氏（坊沢）
◎太田 兵一 氏（綴子）
◎三沢 博隆 氏（綴子）
◎三澤 敏行 氏（綴子）
◎藤島 喜美男 氏（綴子）
◎柳原 まどか 氏（鷹巣）
◎藤島 孝雄 氏（鷹巣）
◎長岐 一志 氏（鷹巣）
◎畠山 敏雄 氏（栄）
◎齊藤 富美雄 氏（栄）
◎九島 敏昭 氏（脇神）
◎中嶋 力蔵 氏（脇神）
◎近藤 輝男 氏（脇神）
◎長岐 正 氏（七日市）
◎佐藤 利子 氏（七日市）
◎宮腰 文義 氏（七日市）
◎後藤 久美 氏（下杉）
◎佐藤 篤史 氏（川井）
◎藤岡 茂憲 氏（李岱）
◎松岡 秀樹 氏（羽根山）
◎三浦 和憲 氏（三木田）
◎土濃塚 謙一郎 氏（芹沢）
◎佐藤 稔 氏（根田）
◎金田 悦子 氏（根田）

◎小野 安則 氏（木戸石）
◎杉渕 光則 氏（増沢）
◎木村 正彦 氏（米内沢）
◎金 俊英 氏（本城）
◎佐藤 哲也 氏（米内沢）
◎榎岡 悦子 氏（米内沢）
◎高橋 一 氏（小又）
◎若松 一幸 氏（五味堀）
◎伊東 誠子 氏（阿仁伏影）
◎松橋 利彦 氏（阿仁比立内）
◎柴田 英一 氏（阿仁中村）

北秋田市農業委員会の任期が平成29年度7月19日をもって満了することに伴い、新たな農業委員会制度（公選制から市長による任命に変更）に基づき農業委員を任命。任期は、平成29年7月20日から平成32年7月19日まで。

『市民の声』

北秋田市老人クラブ連合会

鷹巣支部長 高橋 忠俊さん（綴子）

市議会をもっと身近なものに…

「市議会だより」で、インターネットによる議会中継の導入について、本格的な実現に向け、調査を開始することを知った。

かつて議場で傍聴したことでも、冷暖房の完備したコムもあったが、何故か抵抗を感じ、その後は旧中央公民館のホールでテレビを通じての傍聴が多かった。

コムコムが出来たが、残念ながら議会中継は不可能との事。そのため、去る二月の議会は旧中央公民館で傍聴することになった。

しかし、寒さ対策をしたうえで臨んだにもかかわらず、ガタガタと震えが止まらないほどの寒さに辟易した。

それだけに、インターネットでの議会中継は、一日も早



板垣 淳 議員に

全国市議会議長会表彰

第90回全国市議会議長会定期総会が5月24日、東京国際フォーラム（東京都）で行われ、本市議会から板垣淳議員が15年以上在職者として表彰されました。6月定例会本会議冒頭に、表彰伝達式が行われ、松尾秀一議長から表彰状が贈呈されました。



皆様の「声」を募集します！

※市議会では、市民の皆様への関心と、より身近で親しみをもていただくような議会報の取り組みとして、「市民の声」を掲載しております。

また、開かれた議会を目指しておりますことから、皆様には議会の傍聴を議員一同、心よりお待ち申し上げます。

『議会報告会』を平成29年8月27日(日)開催します！

北秋田市議会基本条例第6条の規定に基づく「議会報告会」を下記により開催します。開かれた議会・議会活性化の一環として、広く市民の負託にこたえるべく、議会の活動状況や特に議論となりました話題などについて報告します。皆様の地域の情報や、課題についてもお知らせください。ぜひ、お誘いあわせのうえご参加をお願いします。

●=班の代表者

【1 班】	【2 班】	【3 班】	【4 班】
〔阿仁地区〕 北秋田市役所 阿仁庁舎 午後2時00分	〔鷹巣地区〕 北秋田市民 ふれあいあいプラザ コムコム 午後2時00分	〔合川地区〕 セントラル合川 午後2時00分	〔森吉地区〕 森吉コミュニティ センター 午後2時00分
●福松 岡尾 由 巳 松山 田 秀 一 山 佐 博 康 佐 庄 文 信 庄 憲 三 郎	●板垣 垣 淳 佐 藤 藤 子 吉 田 田 郎 武 崎 光 長 崎 仁 吉 浩 武 克 長 崎	●佐藤 藤 重 中 嶋 洋 久 嶋 範 松 橋 正 関 口	●黒澤 芳 三 浦 倫 大 森 光 小 原 光 笠 原 光 堀 部 光

次の定例会と各常任委員会は「9月」です市民の皆さまの傍聴をお待ちしています

各常任委員会の会場
総務文教（森吉庁舎）
市民福祉（合川庁舎）
産業建設（阿仁庁舎）

た報公聴特別委員会

委員長 福岡 由巳
副委員長 久留嶋 範子
委員 長崎 克彦
吉田 仁吉郎
武田 浩人
三浦 倫美